～質問票が変われば探究が変わる～
身の回りの環境と健康について研究しよう！

クラス:＿＿＿＿　班:＿＿　氏名:

① 仮説のタネ探し

気になるキーワードをたくさん書いてみよう！

→ 生活習慣振り返りシートを見て、書き出してみよう

② 仮説の骨格をつくろう

①で出したキーワードの中で、相関関係（2つの事柄に関連がある状態）がありそうなことを抜き出して書いてみよう！

→ ストレスと相関関係性がありそうなことを抜き出そう！

私たちの仮説の骨格:

要因:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と 結果:ストレス は相関がある

③ 母集団とサンプルを整理・決定しよう

②で決めた仮説の真偽を確かめる対象を定めよう。時間や場所、規則などの制限がある中で、実際に質問票に回答してもらえそうな、サンプルから母集団を定義してみよう。

母集団（＝調査や研究の対象となる「集団全体の総体」）

サンプル:（総数:　　人）

④ 仮説を具体的にしよう

この仮説が「正しいのか」「間違っているのか」が確かめられる仮説にしよう。

例えば・・・

「スマホとストレスに相関がある」が仮説の骨格の場合は

「スマホ」の何に着目するか？SNSの使用状況？スマホを見ている時間帯？ショート動画と通常動画の影響のちがい？スマホの機種のちがい？

「ストレス」も、スマホの影響で高くなると考えているのか、低くなると考えているのか、質 が変わると考えているのか、こちらも様々な設定をすることができる。

→ 要因のみにフォーカスして考えてみよう

私たちの仮説:

要因:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿により

結果: ストレス は高くなる。

⑤ 質問票の質問を作成しよう

補助教材を見ながら、仮説を検証するための質問を考えよう！

→ 要因の状況を調べる質問だけを作成しよう（7問以下）

-
-
-
-
-
-
-

- ☐ 選択式で聞ける問題は、選択式になっているか（記述をむやみに増やさない）
- ☐ 質問票をうけとった全員が、誤解しない聞き方になっているか
- ☐ 仮説が正しかったか、正しくなかったかを考察するのに十分な質問が用意されているか